

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社

コード番号 4619

URL <http://www.nttoryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 万喜夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務  
業務本部長

(氏名) 田谷 純

(TEL) 03-3913-6134

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,050	3.1	432	39.5	1,936	89.1	1,702	91.9
28年3月期第1四半期	9,750	2.6	310	37.5	1,023	47.8	887	57.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 784百万円( 17.1%) 28年3月期第1四半期 669百万円( 10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	77.01	—
28年3月期第1四半期	40.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	57,949	34,687	56.2
28年3月期	56,894	34,235	57.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 32,594百万円 28年3月期 32,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	14.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,650	9.8	850	△14.1	3,050	28.6	2,600	39.6	117.59
通期	47,700	8.9	2,100	△29.1	5,300	△4.2	4,000	0.9	180.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	23,611,200株	28年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,500,577株	28年3月期	1,500,521株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	22,110,664株	28年3月期1Q	22,110,899株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は引き続き堅調さを維持しているものの、英国のEU離脱問題、中国及び東南アジアでの経済成長の減速など先行きは不透明な状況にあります。国内経済につきましては、原油安や米国経済の回復を背景に企業での雇用環境の改善が進んでいるものの、急激な円高進行など企業収益への影響が懸念されております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、国内需要は低調であったものの、海外は堅調に推移したことに加えて連結子会社の増加により100億5千万円（前年同期比3.1%増）となりました。

損益面につきましては、売上増収に加えて生産性の向上、原材料価格の改善、固定費削減などの原価改善により営業利益は4億3千2百万円（前年同期比39.5%増）、経常利益は米国関連会社における固定資産売却益9億6千万円を含む持分法による投資利益16億1千8百万円を計上したことにより19億3千6百万円（前年同期比89.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億2百万円（前年同期比91.9%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

#### ① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、国内需要の低迷、天候不順等の影響を受け、売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく下回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は工場等の塗り替え需要減少で前年同期比1.3%減少しました。一方、防水用塗料は新規顧客の確保、拡販等により前年同期比2.5%増加しました。

工事関連売上の集合住宅大規模改修工事につきましては、当四半期の工事物件減少や工事開始ずれ等により、前年同期比56.7%と大きく減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は29億3千2百万円（前年同期比21.2%減）、セグメント損失6百万円（前年同期は1億3千5百万円の利益）となりました。

#### ② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、国内の乗用車生産台数は直近四半期比較では減少しましたが、海外での受注増加に加えて子会社の増加により、売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく上回りました。

品種別売上高につきましては、制振材は受注増加により前年同期比1.4%増加しました。吸・遮音材は、受注増加と子会社増加により前年同期比34.8%増加となりました。一方、防錆塗料は国内での受注減少により前年同期比1.8%減となりました。原材料輸出等のその他売上は、前年同期比9.7%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は71億1千3百万円（前年同期比18.1%増）、セグメント利益は4億3千6百万円（前年同期比152.9%増）となりました。

#### ③ その他

保険代理業の売上高は3百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億5千4百万円増加し、579億4千9百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加5億9千4百万円、受取手形及び売掛金の減少12億7千2百万円、流動資産のその他の減少5億9千6百万円、有形固定資産の増加19億1千6百万円、無形固定資産の増加5億5千5百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億2百万円増加し、232億6千1百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少7億9千8百万円、借入金の増加16億5千2百万円、未払法人税等の減少4億7千5百万円、流動負債のその他の増加2億5千9百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億5千2百万円増加し、346億8千7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加10億5千2百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億3千1百万円、為替換算調整勘定の減少6億5千9百万円、非支配株主持分の増加3億6千8百万円によるものです。自己資本比率は0.9%減少し56.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,184	6,778
受取手形及び売掛金	13,168	11,895
商品及び製品	1,337	1,453
仕掛品	418	392
原材料及び貯蔵品	931	1,083
繰延税金資産	425	453
その他	1,050	453
貸倒引当金	△89	△89
流動資産合計	23,427	22,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,877	4,086
機械装置及び運搬具(純額)	3,197	3,733
土地	3,561	3,561
建設仮勘定	1,715	2,805
その他(純額)	1,443	1,524
有形固定資産合計	13,795	15,711
無形固定資産		
その他	470	1,026
無形固定資産合計	470	1,026
投資その他の資産		
投資有価証券	17,275	16,859
長期貸付金	261	238
繰延税金資産	38	64
その他	1,646	1,647
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	19,201	18,788
固定資産合計	33,467	35,526
資産合計	56,894	57,949

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,057	8,259
短期借入金	1,960	3,101
リース債務	62	92
未払法人税等	654	179
役員賞与引当金	61	-
その他	3,646	3,905
流動負債合計	15,444	15,538
固定負債		
長期借入金	2,249	2,760
リース債務	152	316
退職給付に係る負債	4,408	4,390
繰延税金負債	363	215
その他	42	39
固定負債合計	7,215	7,723
負債合計	22,659	23,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,362	4,362
利益剰余金	18,947	20,000
自己株式	△496	△496
株主資本合計	27,567	28,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,220	3,889
為替換算調整勘定	1,061	401
退職給付に係る調整累計額	△339	△316
その他の包括利益累計額合計	4,942	3,974
非支配株主持分	1,725	2,093
純資産合計	34,235	34,687
負債純資産合計	56,894	57,949

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,750	10,050
売上原価	7,706	7,741
売上総利益	2,043	2,308
販売費及び一般管理費	1,733	1,875
営業利益	310	432
営業外収益		
受取配当金	60	92
持分法による投資利益	632	1,618
その他	38	42
営業外収益合計	732	1,754
営業外費用		
支払利息	17	30
為替差損	-	219
その他	0	1
営業外費用合計	18	250
経常利益	1,023	1,936
特別利益		
固定資産売却益	15	-
受取保険金	1	0
特別利益合計	16	0
特別損失		
固定資産処分損	4	46
投資有価証券評価損	-	0
特別損失合計	4	46
税金等調整前四半期純利益	1,036	1,890
法人税等	133	82
四半期純利益	902	1,808
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	105
親会社株主に帰属する四半期純利益	887	1,702

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	902	1,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201	△330
為替換算調整勘定	△9	△117
退職給付に係る調整額	1	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△598
その他の包括利益合計	△232	△1,023
四半期包括利益	669	784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	659	734
非支配株主に係る四半期包括利益	10	50

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,720	6,025	9,746	3	9,750	—	9,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	3,721	6,025	9,747	3	9,751	△0	9,750
セグメント利益	135	172	308	1	310	—	310

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,932	7,113	10,046	3	10,050	—	10,050
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	2,933	7,113	10,047	3	10,050	△0	10,050
セグメント利益又は損失(△)	△6	436	430	2	432	—	432

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。